

第62期 第2四半期株主通信
平成21年4月1日～平成21年9月30日

sawai TODAY



patients
first



沢井製薬株式会社 ジェネリック医薬品のトップブランド

証券コード 4555

なによりも患者さんのために patients first

- 1 「真心をこめた医薬品を通じ、
人々の健やかな暮らしを実現する」
それが **sawai** の使命です。
- 2 「創造性を追求し、
革新と協調により社会と共に成長する」
それが **sawai** の挑戦です。
- 3 「お役に立ちたいという心を持ち、
なくてはならない存在になる」
それが **sawai** の願いです。

CONTENTS

ごあいさつと業績のご報告/ 第62期 第2四半期連結財務ハイライト	1
経営戦略インタビュー	3
sawai TOPICS	6
四半期連結財務諸表(要約)	7
会社概要	9
株式情報	10

ごあいさつと業績のご報告

中期経営計画「M1 TRUST」のもと、



代表取締役会長 澤井 弘行

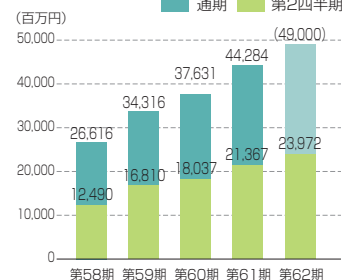
株主の皆さまにはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。第62期第2四半期の株主通信をお届けするにあたり、日頃からのご理解とご支援に厚くお礼申し上げます。

医療費抑制に向けたジェネリック医薬品市場の拡大

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、一部の景気は

第62期 第2四半期 連結財務ハイライト

売上高



※()は通期の予想

大幅な増収増益を達成しました。



代表取締役社長 澤井 光郎

持ち直しつつも先行きは不透明感があり、依然として厳しい状況が続いています。医療用医薬品業界においては、昨年度からスタートした「処方せん様式の再変更」や診療報酬改定による「後発医薬品調剤体制加算」などのジェネリック医薬品使用促進策に加え、DPC（急性期入院の診断群別包括支

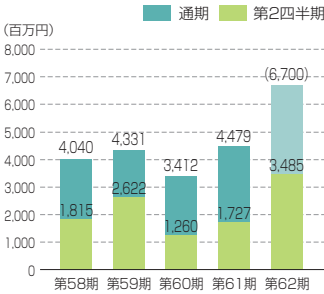
払制）対象病院のさらなる増加など、医療費抑制のための諸施策が実施され、緩やかにジェネリック医薬品の市場が拡大しています。

■ 売上高の増加及びコストダウンで大幅な増収を達成

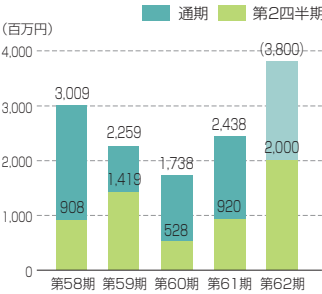
当社グループは、本年度より中期経営計画「M1 TRUST」をスタートさせ、「選ばれる」サワイブランド構築に取り組んできました。5月にはOD錠（口腔内崩壊錠）をはじめとする20成分34品目を発売。またDPC対象病院や保険薬局への営業活動に注力してまいりました。その結果、当期は売上高が23,972百万円（前年同期比12.2%増）となりました。利益面では売上高増加に加え、売上原価率の改善、販売費及び一般管理費の増加が小幅に止まったことなどにより、営業利益3,529百万円（同96.1%増）、経常利益3,485百万円（同101.8%増）、四半期純利益は2,000百万円（同117.5%増）と大幅な増益となりました。

今後とも「なによりも患者さんのために」の理念のもと、さらなる飛躍をめざして邁進してまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

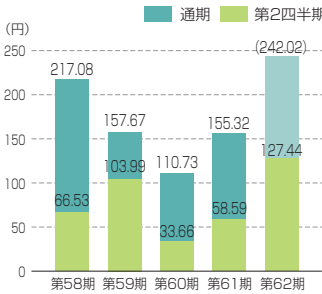
経常利益



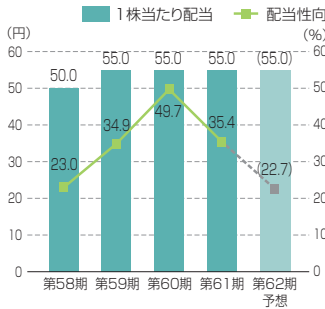
当期純利益



1株当たり当期純利益



1株当たり配当/配当性向(連結)



「なによりも患者さんのために」 さらなる品質向上&安定供給に挑戦しています。

ジェネリック医薬品(GE)への期待が高まる中で、トップブランドとしての当社の責任はますます大きくなっています。今回は、生産本部における品質向上や安定供給の取組み、挑戦について木村生産本部長に聞きました。



常務取締役 生産本部長 **木村 圭一**

昭和46年大阪工業大学工学部応用化学科卒業、同年4月入社。
約15年間製剤研究に従事した後、生産部門へ。
平成10年4月三田工場長、平成13年4月九州工場長、
平成14年6月取締役生産本部長を経て、
平成17年6月から常務取締役生産本部長。

GEのリーディング企業として、 社会的責任を率先して果たします。

生産本部としての最大の使命は、製品のみならず沢井製薬の信頼をつくり出すことです。「なによりも患者さんのために」という観点から、品質確保・安定供給などの社会的課題に業界リーダーとして率先して取り組み、「サワイブランド」とGEの信頼感を醸成していきたいと考えています。

GEメーカーに求められる社会的課題を具体的な目標とともに示しているのが、厚生労働省の定めた「後発医薬品の安心使用促進アクションプログラム(以下、アクションプログラム)」です。当社はこれまでもGEのリーディング企業として、品質確保・安定供給に向けた取組みを続けてまいりました。その結果、アクションプログラムが掲げる目標値はすでに達成しつつある段階にあります。

患者さんと医療関係者にとって扱いやすい、 「ひとつ上の品質」を追求します。

アクションプログラムの枠を超えて、当社では「ひとつ上の品質」を掲げ、さらなる品質の向上と付加価値の高い製品づくりへの独自の取組みを進めています。これは、「なによりも患者さんのために」という当社の

理念を具現化し、先発医薬品を含めた市場全体において、最も高い品質をめざすものです。そのひとつに、1錠1錠の品質をさらに高めるというテーマがあり、1錠1錠の成分をより厳密に試験し、独自のノウハウで均質性をさらに改善することに取り組んでいます。

原料についても「ひとつ上の品質」を追求するという姿勢を貫いています。自社製造分を含め、世界中から広く求めた原料について、純度や性状などについて細かく分析し、結晶形や粒度、微量な異物など、厳しい社内基準に合致するもののみを厳選しています。

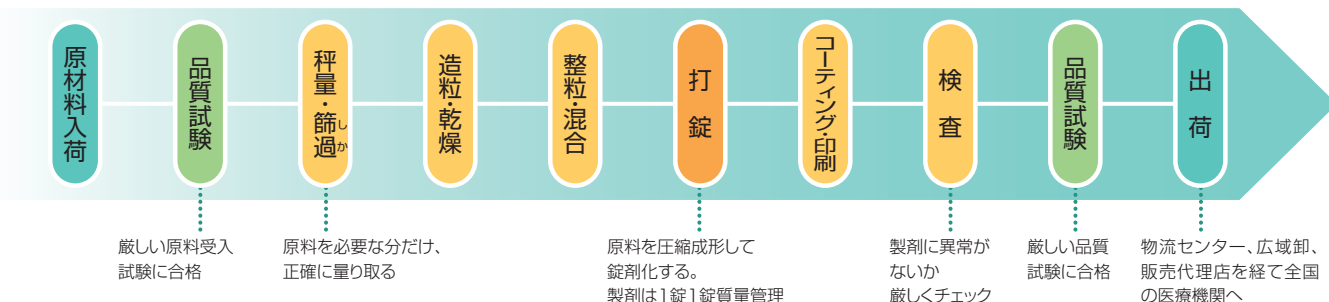
また、生産における品質づくりの鍵は、製剤技術に加え量産レベルにおける生産技術の向上にもあります。研究開発段階での製剤研究から一歩踏み込んで、生産工程での製剤化技術、量産化技術の向上を図るため、昨年10月生産本部に技術部を新設しました。今年10

月には「製剤研究センター」を開設し、新規開発製品のみならず、既存製品についても最新の製剤技術・生産技術を用いた高付加価値化に取り組む体制を充実させました。研究開発本部の製剤研究部と生産本部の技術部、各生産工場との連携強化により、品質向上に向けた製剤化研究をさらに加速させます。「なによりも患者さんのために」という視点から、服用しやすい特徴ある製剤の研究や、より使いやすく医療過誤を起こしにくい包装設計などの技術開発も強化する方針です。

業界トップの生産能力により、 安定供給体制への信頼を醸成していきます。

近年、増産のための設備投資も積極的に実施し、業界トップの生産能力50億錠、700億円以上の売上規模にも対応可能な体制を整えてまいりました。生産能

■ 生産工程概要(錠剤)



経営戦略インタビュー

力増強に加え、GEメーカーの命題としては、品質を確保しつつ生産効率を高めて多品種少量生産を行うことが大きな課題といえるでしょう。

中期経営計画「M1 TRUST」の3年間で、新製品を100品目上市し、現在の500品目が600品目を超えることが予想されます。これらの多くの品目を製造し、継続的に安定供給する責任があります。

GEの生産では、品目の切り替えごとに、製造室の清掃・機械の分解・洗浄・組み立て直しに、人手と時間を要します。さらなる多品種少量生産に対応するには、これらを効率的に進めながら、しかも高品質を確保することが大きな課題になってきます。

この課題を達成し、適切な品質管理を実践するためには投資や教育も必要になってきます。一方で機械化は当然進めていきますが、包装工程など人手に頼らざるをえないものもあります。また、大量生産と少量生産の棲み分けといった視点も必要です。たとえばA工場



に手作業を要する製品を集中するなど、工場の役割分担を明確化し、全体での効率を高めていくといった試みも行いたいと考えています。

売上が拡大するにつれ、社会的責任も大きくなります。品質と安定供給の両面からサワイブランドとGEへの信頼をさらに醸成していきたいですね。

✦ 製剤研究センター(2009年10月開設)

ひとつ上の品質に向けて取り組んでいます。

製剤技術に精通した技術部スタッフが、最新の製剤技術・生産技術を用い、優れた製品づくり・高付加価値化に取り組めます。

また、量産プロセスでの品質向上の研究を進めるため、研究スケールの生産設備に加え、パイロットスケールの各種生産設備を新たに導入しています。



医療関係者からの毎月1,000件もの問い合わせに対応

医師・薬剤師等の医療関係者からの専門的な問い合わせに対応しているのが、「医薬品情報センター」です。2008年1月の設置以来、月平均1,000件を超える問い合わせにお応えしています。

正確でスピーディーな対応により、医療関係者からの信頼を高めるために、センター員は全員が薬剤師です。学術的で高度な質問にも、専門知識を活かして9割近くが即時回答。文献検索が必要な場合でも20分以内に回答できる体制を整えています。対応のさらなる充実をはかるため、センターでは問い合わせデータの収集・蓄積・分析を継続的にを行い、即時回答率を大幅にアップ。MR活動とあわせ、当社の情報提供体制の一翼を担っています。



11月に20成分29品目の新製品を発売

5月の新製品20成分34品目と合わせ、今期は合計40成分63品目の新製品を発売。患者さんの飲みやすさを追求した「アムロジピンOD錠（口腔内崩壊錠）」が加わり、OD錠のラインアップがさらに充実しました。



医療関係者向け
広告

■主要な新製品

高血圧症・狭心症治療剤	アムロジピンOD錠 2.5mg/5mg「サワイ」
糖尿病食後過血糖改善剤	アカルボース錠 50mg/100mg「サワイ」
慢性動脈閉塞症に伴う虚血性諸症状改善剤	サルボグレラート塩酸塩錠 50mg/100mg「サワイ」
セフェム系抗生物質製剤	セフカベンピボキシル塩酸塩小児用細粒 10%「サワイ」
ニューキノロン系合成抗菌剤	トスフロキサシントシル酸塩錠 75mg/150mg「サワイ」
高コレステロール血症治療剤	フルバスタチン錠 10mg/20mg/30mg「サワイ」
アレルギー性結膜炎治療剤	トラニラスト点眼液 0.5%「サワイ」
抗腫瘍性抗生物質製剤	エピルビン塩酸塩注射液 10mg/5mL「サワイ」
	エピルビン塩酸塩注射液 50mg/25mL「サワイ」
カルバペネム系抗生物質製剤	メロペネム点滴静注用 0.25g/0.5g「サワイ」

業容拡大に対応し、さいたま支店を新設

大病院等医療機関が集中している首都圏の業容拡大に対応するため、10月1日に「東京支店」を分割・再編し、北関東営業所を「さいたま支店」として昇格のうえ組織を変更しました。

さいたま支店は埼玉県・栃木県エリアを担当、さいたま支店上信越営業所は群馬県・山梨県・新潟県・長野県を担当します。

東京都・神奈川県・千葉県・茨城県をカバーする東京支店とあわせて、首都圏での営業活動をさらに積極的に行います。

四半期連結財務諸表(要約)

四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科 目	当第2四半期連結会計期間末 平成21年9月30日現在	前連結会計年度末 平成21年3月31日現在
資産の部		
流動資産	42,817	38,953
現金及び預金	7,400	6,548
受取手形及び売掛金	18,140	17,289
たな卸資産	15,417	13,588
繰延税金資産	1,556	1,321
その他	306	231
貸倒引当金	△ 3	△ 25
固定資産	33,333	33,366
有形固定資産	31,849	31,821
建物及び構築物	18,465	18,584
機械装置及び運搬具	6,758	6,943
土地	5,139	5,139
リース資産	24	26
建設仮勘定	303	31
その他	1,157	1,096
無形固定資産	560	598
投資その他の資産	924	945
投資有価証券	594	544
長期貸付金	76	98
繰延税金資産	—	31
その他	282	299
貸倒引当金	△ 28	△ 28
資産合計	76,151	72,319

単位：百万円

科 目	当第2四半期連結会計期間末 平成21年9月30日現在	前連結会計年度末 平成21年3月31日現在
負債の部		
流動負債	22,019	20,910
支払手形及び買掛金	8,754	6,527
短期借入金	5,677	5,080
リース債務	11	10
未払金	4,119	6,075
未払法人税等	1,646	1,587
引当金	1,561	1,392
その他	248	236
固定負債	10,598	9,703
長期借入金	9,328	8,471
リース債務	17	20
引当金	350	322
繰延税金負債	140	138
負ののれん	32	38
その他	729	711
負債合計	32,618	30,613
純資産の部		
株主資本	41,576	39,968
資本金	11,501	11,501
資本剰余金	11,825	11,825
利益剰余金	18,252	16,644
自己株式	△ 3	△ 2
評価・換算差額等	116	86
その他有価証券評価差額金	116	86
新株予約権	142	82
少数株主持分	1,697	1,567
純資産合計	43,532	41,705
負債及び純資産合計	76,151	72,319

四半期連結損益計算書

単位：百万円

科 目	当第2四半期連結累計期間 平成21年4月1日～ 平成21年9月30日	前第2四半期連結累計期間 平成20年4月1日～ 平成20年9月30日
① 売上高	23,972	21,367
売上原価	12,910	12,170
② 売上総利益	11,062	9,197
③ 販売費及び一般管理費	7,532	7,397
営業利益	3,529	1,800
営業外収益	90	53
営業外費用	134	126
経常利益	3,485	1,727
特別利益	—	0
特別損失	33	74
税金等調整前四半期純利益	3,452	1,653
法人税、住民税及び事業税	1,540	1,053
法人税等調整額	△ 221	△ 456
少数株主利益	132	136
四半期純利益	2,000	920

Point ① 売上高

DPC病院をはじめとする病院および保険薬局への営業活動強化により、前年同期比12.2%増の23,972百万円となりました。

Point ② 売上総利益

コストコントロールの徹底、たな卸評価損・廃棄損が大幅に減少したことから、売上原価率が前年同期比3.1%減に改善した結果、売上総利益は1,864百万円増加し、11,062百万円となりました。

Point ③ 販売費及び一般管理費

- 人件費…2,553百万円(前年同期2,392百万円)
医療機関への情報提供活動を担うMRの増員
- 広告宣伝費…442百万円(前年同期653百万円)
昨年は、制度変更に合わせてテレビCM・新聞広告を積極的に行ったため、前年同期比32.3%減少

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科 目	当第2四半期連結累計期間 平成21年4月1日～平成21年9月30日	前第2四半期連結累計期間 平成20年4月1日～平成20年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,643	1,022
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,846	△ 1,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,055	△ 465
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	852	△ 1,219
現金及び現金同等物の期首残高	6,548	5,388
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,400	4,169

● 会社の概要 (平成21年9月30日現在)

社 名	沢井製薬株式会社
創 業	昭和4年4月1日
設 立	昭和23年7月1日
資 本 金	115億165万円
従 業 員 数	861名 (連結)
事 業 内 容	医薬品の製造販売及び輸出入
販 売 品 目	生活習慣病(高血圧症、脂質異常症、糖尿病等)治療剤、 抗がん剤など医療用医薬品約500品目及び一般用医薬品
主要取引銀行	三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行
ご 採 用 先	国立病院など全国約7,100病院(カバー率約79.8%)、 約33,400医院・診療所(約32.0%)、及び約45,200 保険薬局(約73.3%)(平成21年3月31日現在)
販 売 代 理 店	西部沢井薬品ほか国内140社、海外1社及び広域卸
提 携 会 社	明治製菓(株)、旭化成ファーマ(株)、積水メディカル(株)、 扶桑薬品工業(株)、バイエル薬品(株)、日本化薬(株)、 田辺三菱製薬(株)、アスピオファーマ(株)ほか

● 役 員 (平成21年6月24日現在)

代表取締役会長	澤井 弘行	取 締 役	高橋 嘉輝
代表取締役社長	澤井 光郎	取 締 役	小玉 稔
常 務 取 締 役	岩佐 孝	取 締 役	尾鼻 康弘
常 務 取 締 役	戸谷 治雅	常 勤 監 査 役	小西 俊明
常 務 取 締 役	木村 圭一	監 査 役	澤井 武清
常 務 取 締 役	横浜 重晴	監 査 役	上田 耕治
取 締 役	稲荷 恭三	監 査 役	菅尾 英文
取 締 役	徳山 慎一	監 査 役	高橋 孝志

● 本社・事業所・グループ会社 (平成21年10月1日現在)

本社・研究所	大阪市淀川区宮原5丁目2-30
支 店	札幌、仙台、さいたま、東京、名古屋、大阪、広島、福岡
営 業 所	上信越、東京東、東京西、横浜、静岡、 京都、神戸、北陸、高松、岡山、熊本
工 場	九州工場、三田工場、大阪工場、関東工場、 メディサ新薬九州工場、化研生薬八郷工場
関 連 会 社	メディサ新薬株式会社、化研生薬株式会社

● 株主メモ

決 算 期	3月31日	事 務 取 扱 場 所 【 郵 便 物 受 付 】 【 電 話 照 会 】	〒541-0041 大阪市中央区北浜二丁目2番21号 中央三井信託銀行株式会社 大阪支店 証券代行部 ☎0120-78-2031 株式関係のお手続用紙のご請求は、次の中央三井信託銀行の 電話及びインターネットでも24時間承っています。 ☎0120-87-2031 http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html
定 時 株 主 総 会	6月		
1単元の株式の数	100株		
配当金受領株主確定日	3月31日及び中間配当を行うときは9月30日	同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
基 準 日	定時株主総会については3月31日といたします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。	名 義 書 換 手 数 料	無料
株 主 名 簿 管 理 人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社	公 告 方 法	電子公告としております。ただし、事故やその他止む を得ない事由によって電子公告による公告をするこ とができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 ※公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.sawai.co.jp/ir/index.html

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

株式状況

発行可能株式総数	38,800,000株
発行済株式の総数（自己株式662株を含む）	15,702,000株
1単元の株式の数	100株
株主数	8,865名

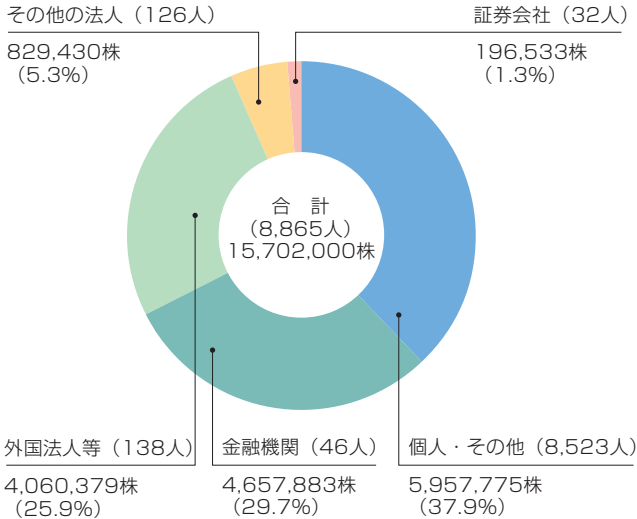
大株主

株主名	持株数
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,022,300株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	789,600株
澤井光郎	771,200株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	676,100株
澤井弘行	615,100株
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	513,400株
澤井健造	484,000株
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	411,900株
野村信託銀行株式会社（投信口）	386,200株
澤井治郎	307,900株

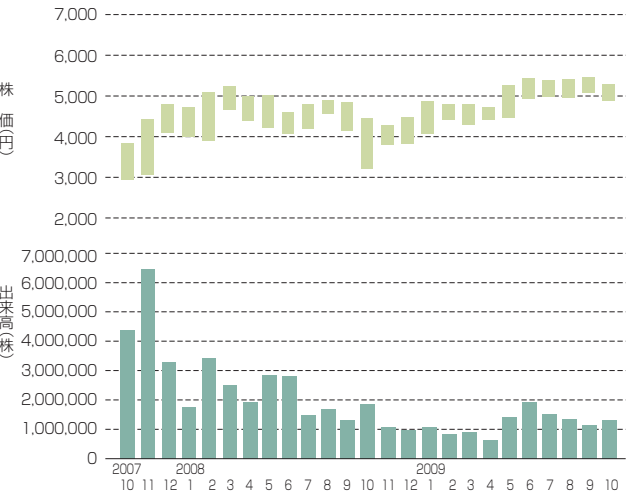
(注) 上記の持株数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,022,300株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	789,600株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	676,100株
野村信託銀行株式会社(投信口)	386,200株

株式分布状況



株価（高値・安値）および出来高の推移



コミュニケーション広場

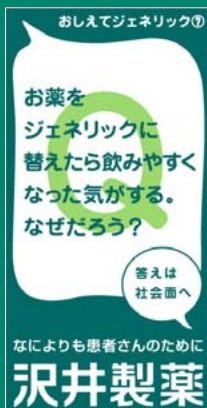
～株主さまアンケートから

GE普及に向けた啓発活動について

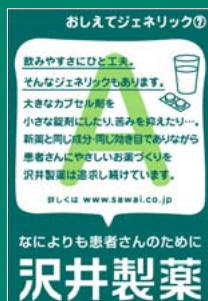
啓発活動やテレビCMなどをもっと活発にしてほしいという声が株主さまから数多く寄せられています。そこで当社の取り組みの一部をご紹介します。

当社は、企業理念「なによりも患者さんのために」に基づいて、患者さんと医療関係者に選ばれ、「なくてはならない製薬会社」として社会に根づいていくことをめざし、広告・啓発活動を展開しています。テレビや新聞・雑誌などの広告をはじめ、健康と家計を応援するウェブサイト

「健康かけいぼ」の提供、市民公開シンポジウムの開催などにも積極的に取り組んでいます。



読売新聞に毎月1回掲載しているQ&A方式の
突き出し広告「おしえてジェネリック」



「ジェネリックハンドブック」について

61期株主通信と一緒にお送りしたジェネリックハンドブックについて「分かりやすかった」「参考になった」という声を多数いただきました。もしお持ちでない方は、当社ホームページからご請求いただけます。(http://www.sawai.co.jp)

また、ホームページからPDFファイルでご覧いただくこともできます。



巻末の
「ジェネリック医薬品
お願いカード」も
ご活用下さい



沢井製薬株式会社

大阪市淀川区宮原5丁目2-30 〒532-0003
TEL: 06-6105-5711 FAX: 06-6394-7311
http://www.sawai.co.jp



ミックス品

FSC認証林及び管理された
森林からの製品グループです
www.fsc.org Cert no. SGS-COC-001508
© 1996 Forest Stewardship Council